

平成24年度 第3回摂津市民図書館等協議会 要点録

日時：平成24年11月29日（木）

午前10時30分～午前11時45分

場所：摂津市民図書館 3階 会議室

出席委員 : 9名
欠席委員 : 1名
事務局 : 6名

- 案件：1. 平成24年度 第2回協議会要点録の承認について
2. 市民図書館等利用者満足度調査 調査結果について
3. 市民図書館等モニタリング評価結果について（第2四半期分）
4. その他

1. 平成24年度 第2回協議会要点録の承認について
（事務局） 「平成24年度 第2回協議会要点録」の概要について説明
質疑なく、原案どおり承認いただく。
2. 市民図書館等利用者満足度調査 調査結果について
（事務局） 「市民図書館等利用者満足度調査 調査結果」について報告

【質疑応答や各委員の意見等】

- （委員） 市民図書館と鳥飼図書センターでのクロス集計は行っているか。大学の公開講座で受講者アンケートを実施するが、年代によって女性と男性が完全に逆転するなど、きれいな差が出る。男女で滞在時間差があるかなど、このアンケートもクロス集計をすればおもしろい結果がでるのではないか。
- （委員） 昨年も言ったがアンケート用紙が置かれているだけで積極的に渡してる風には見えなかった。鳥飼図書センターに比べても配布枚数が少ないが、市民図書館でも積極的な声かけがあれば、もう少し配布枚数が多くなったのでは。
- （事務局） 声をかけるようには指示をしていたが、なかなか受け取ってもらえず、声かけをためらってしまったようである。改善が必要だと考えている。
- （委員） 調査項目は昨年と同様で、「去年も書いたから」ということで受け取ってもらえなかったようだが、結果を比較するために毎年同じ内容で同じ時期にアンケートをした方がいいのか、それともいろんな意見を聞くために違う時期に変えた方がいいのか、どう考えているか。
- （事務局） 今年については定点観測がいいだろう、ということで同じ時期に同じ内容のアンケートを行ったが、結果を見て今後検討する必要があるかと考えている。この調査は来館者を対象にしているので、非来館者への調査も今後考えていきたい。

3. 市民図書館等モニタリング評価結果について（第2四半期分）

（事務局） 委員各位においては、第2四半期の図書館運営に関する評価を実施していただいている。評価項目については従前のものと同様で、7項目について各5点満点で評価していただき、10名の委員の合計点数350点をもとに、A～Eの5段階評価で評価を行った。

平成24年度第2四半期の委員評価は244点、昨年同時期と同じくC評価ではあるが、概ね本年度の方がポイントが向上している。

総合評価についても、従来通り委員評価の点数に行政側で評価した10項目合計50点の評価を加

点した400点満点で評価している。総合評価については277点、得点率69.3%で、平成24年度第2四半期における総合評価については、5段階評価ではC評価、概ね適切に実施され、一定水準以上のサービスが実施されているというに判断している。

【質疑応答や各委員の意見等】

- (事務局) 評価シートの自由記述内容について、以前からご指摘いただいている障がい者用トイレの物置台については、小さなイスを1、2階ともに設置した。企画のテーマ展示についてはいい評価をいただいているが、今後も頑張っていく。雑誌の異臭に関しては、少しでも軽減できるよう手を尽くしている。図書館の空気が荒れてきているというご意見については、他の委員の方ほどのように感じておられるか、ご意見を伺いたい。
- (委員) 私が書いたのだが、一般的に図書館は謹厳な、全体的に空気が「シーン」とした雰囲気だが、少し変わってきたように感じられる。ただ、それが悪いことなのかどうかも判断がつかなくて困惑している。
- (委員) 今、特に大学図書館では飲食物の持ち込みや会話が自由なところがある。我々の世代は普通は図書館のようなところでは音を立てないというのがあるが、そういう意味では荒れているという雰囲気は時々する。特に大学図書館は昔の謹厳な雰囲気の図書館からは離れていっていると思う。
- (委員) 今は大きい書店でも立ち読み、座り読みのスペースを設けているところがある。建物の関係もあるが、飲食・歓談自由なスペースで1冊だけでもいいからコーヒーを飲みながら本を読みたい。近くで似たような本を読んでいる人がいれば、そういったスペースで「その本どうですか？」などと話をしてみたい。他市でそういう取り組みがあると聞くとうらやましいと思ってしまう。
- (委員) 最近は図書館内でも飲食を認めるところが増えてきている。
- (事務局) 以前の図書館は勉強する場で、少しでも物音を立てたらいけない雰囲気があったが、最近は図書館の機能として、調べ物や勉強といった基本機能のほかに地域コミュニティの施設という側面を求められている部分がある。摂津市においても指定管理者のノウハウを生かして、図書館を少しずつ変えていくことは必要だと考えているのでご期待いただきたい。
- (委員) 図書館ではなく公民館のことだが、以前活用されていなかったロビーが今開放されて、子どもたちがそこで宿題をしていることが多い。子どものことなので騒いでうるさいという人もいるが、好意的な意見の方が多い。そういう形で公民館が開放されているということは、図書館についても今後考えてもらえるのだろうかという期待がある。
- (委員) モニタリング評価について、いつも点数のつけ方に悩んでしまう。なにか指標となるものを提示してもらえないか。図書館は一生懸命改善して取り組んでいるのに、なかなか点数に現れていないのではないかと思う。
- (委員) 確かに悩むが、主観でいいのでは。
- (委員) 数字だけなら私の真意は伝わらないので、欄外に「テーマ展示いいですね」と書いた。そういう欄も設けてほしい。
- (委員) 努力して一生懸命やっていることは、せめてこの協議会の中だけでもアピールしてはどうか。業務報告書を読むとおよそわかるが、特に頑張ったというのがあれば出してもらえたらいいと思う。
- (委員) 雑誌のにおいのことも、図書館ではここまでしていると初めて知った。
- (事務局) 評価の点数に関しては主観でつけていただければいい。ただし、意見の誘導にならない程度で悩んだ時に指針になるようなものは参考として添付したい。

4. その他

<平成24年度 第三四半期のチェックシートによる評価及び第4回図書館等協議会について>

(事務局) 今現在第三四半期の図書館の運営を行っているが、10月から12月の評価について、1月下旬頃にチェックシートを郵送するので評価していただき、その結果報告を2月に開催予定の第4回の協議会で予定している。その時期が来れば委員各位に案内させていただくので、その際はよろしくお願ひしたい。

<その他図書館運営についてのご意見>

(委員) 週刊朝日の連載記事について、ある大阪府下の図書館は、特定の記事を差別を助長するとして閲覧を制限したが、摂津の図書館はなにか対処したのか。

(事務局) 図書館界でも賛否両論があるが、本市では閲覧制限をするのはいかがなものかという考え方のとって、特に対応は行わなかった。

(委員) 図書館のトイレは和式しかないが、なんとか洋式も導入してもらえないか。障がい者用トイレは洋式だが、もし車いすの方が来られたら、と思うとなかなか使いにくい。

(委員) 全部洋式ではなく、和式も残す形で改修してほしい。

(事務局) 改善課題として検討したい。

(委員) 以前から音声訳講座を開いていただきたいとお願ひしているが、経済的な理由で難しいと返答をいただいている。今回社会福祉協議会がそういう講座を開く準備をしていると聞いたが、社会福祉協議会でできてなぜ図書館ではできないのかと思う。

(事務局) 経済的な問題や、講師の問題から、一自治体で考えるよりは府立図書館などで企画する講座に出席するということになるかと思う。来年度について講座の開催状況や参加資格をご案内できればと考えている。

(委員) 大学で紹介いただける方はないか。

(委員) 地域貢献の一環として様々な分野で協力させていただいているが、今知る限りでは申し訳ないが新しい試みとしては難しいのではないか。

(委員) 音声訳サークルは引っ越しや家族の看病などで人も減ってきて、広報の音声訳さえ十分まわしていけないような状況になってきている。図書館にしっかり取り組んでいただきたいと思う。ここしばらくは新しい本を音声訳するというのもなくなっている。

(事務局) サービスそのものの質も変わってきており、市の広報は音声訳をお願いしているが、一般の資料は専門機関から取り寄せてお貸しするという形にかわりつつある。障がい者サービスの担当を育てるといような趣旨の講座は大阪府立図書館など大きな図書館が主催されており、ボランティアの方が参加できるような講座があればご案内させていただきたい。

(委員) まだボランティアになっていない方を拾い上げる講座をしてもらいたい。

(事務局) ボランティアを志す方、一般の方向けの講座については調査をして、参加できる形のものがあればご案内していきたい。

(委員) 本の音声訳が必要ではなくなっていることは私たちも分かっている。投げやりな雰囲気もグループの中に出てきているが、それでいいのかなと思う。音声訳の広報を聴いていただいている方も、昔からずっと同じ方である。中途失明の方もいらっしゃるはずなのだが、そういうサービスがあることを知らない方も多いのではないか。

(事務局) 広報は必要なことであるので、障害福祉の部署と連携して、今後検討したい。